

平成18年3月期中間期 会社説明資料

平成17年9月



大阪港振興株式会社

(JASDAQ・8810)

平成17年9月現在

商号 大阪港振興株式会社

本社 大阪府大阪市港区築港三丁目7番15号

代表者 代表取締役社長 室 力松

設立 昭和22年8月6日

資本金 100百万円

売上高 2,724百万円（平成17年3月期）

従業員 39名

昭和22年 8月	大阪市北区において、大阪港の復興と機能増進を図るため官民共同出資の大阪港振興株式会社を設立、臨港土地貸付事業の準備及び臨港諸施設の経営に着手。
昭和23年 6月	土地貸付事業を開始。
昭和25年 4月	公共上屋としての上屋事業を開始。
昭和25年 6月	冷蔵倉庫を新設し、製氷及び冷蔵倉庫事業を開始。
昭和31年 5月	本社所在地を大阪市港区に移転。
昭和44年 4月	港振興ビル（南館）を建設し、ビル事業を開始。
昭和45年 7月	第一大阪港ビルを建設。
昭和50年 4月	南港センタービルを建設。
昭和52年10月	南港ポートタウン管理センターを建設。
昭和54年 7月	南港ポートタウンショッピングセンター施設（第Ⅰ期）を建設。
昭和59年11月	南港ポートタウンショッピングセンター施設（第Ⅱ期）を建設。
昭和60年 3月	南港ポートタウン西駅前商業施設を建設。
平成 4年11月	南港ポートタウンショッピングセンター飲食店舗施設「カリヨンプラザ」を建設。
平成 6年 3月	大阪港振興南港倉庫を建設。
平成11年 1月	大阪港振興第2南港倉庫を建設。
平成14年 8月	piaNPOの営業を開始。

当社は大阪市の第3セクターとして、大阪港を中心とした土地・施設等の開発・運営を担うことにより臨海地域の振興・発展ならびに大阪市産業の振興に寄与することを目的としています。当社には子会社及び関連会社はなく、事業内容としては、土地の賃貸、建物の賃貸、物流施設の経営等であります。

平成18年3月期 中間決算概要



大阪港振興株式会社

(JASDAQ・8810)

売上高につきましては、建物事業におきまして、第一大阪港ビルなどビル稼働率の改善もありましたが、南港ポートタウン管理センターにおきまして大口テナントの退室が大きく影響したことにより昨年に比べ減少しました。

また経費につきましては、修繕費をはじめ諸経費の削減に努めたことにより昨年に比べ減少しました。

これにより利益につきましては、今中間期より減損損失を計上いたしましたが、昨年に比べ増加しました。

<トピックス>

平成17年10月より南港ポートタウン西ビルがオープンいたしました。

平成17年12月に老人福祉施設（グループホーム）が竣工予定です。

損益計算書（非連結）

大阪港振興株式会社

（単位：百万円）	17年9月中間期	16年9月中間期	増減	備考
売上高	1,362	1,374	△ 12	
売上原価	992	1,028	△ 36	
販売費及び一般管理費	97	91	5	
営業利益	272	254	18	
営業外収益	6	8	△ 2	
営業外費用	16	19	△ 2	
経常利益	262	244	18	
特別利益	1	—	1	
特別損失	19	—	19	減損損失18百万円
当期純利益	147	141	5	

貸借対照表（非連結）

大阪港振興株式会社

（単位：百万円）

	17年9月中間期	16年9月中間期	増減	備考
流動資産	2,607	1,914	693	契約保証金の受入
固定資産	7,756	7,717	38	
資産合計	10,364	9,632	731	

流動負債	1,454	884	570	未払金の増加
固定負債	5,049	5,159	△ 109	長期借入金の返済
負債合計	6,503	6,043	460	

資本金	100	100	—	
資本剰余金	58	58	—	
利益剰余金	3,677	3,415	261	
資本合計	3,860	3,588	271	

資本・負債合計	10,364	9,632	731	
---------	--------	-------	-----	--

キャッシュ・フロー 計算書 (非連結)

大阪港振興株式会社

(単位：百万円)	17年9月中間期	16年9月中間期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	461	83	377	保証金の受入等によるもの
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 31	△ 43	11	有形固定資産の取得による支出と 有価証券の売却による収入による もの
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 95	△ 119	23	借入金の返済によるもの
現金及び現金同等物の 増加額	333	△ 80	413	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,062	1,063	△ 1	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,395	983	412	

(単位：百万円)

事業	17年9月中間期		16年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
土地事業	309	22.7%	298	21.7%	10	3.6%
建物事業	922	67.8%	928	67.6%	△ 5	△0.6%
物流事業	129	9.5%	146	10.7%	△ 17	△11.6%
合計	1,362	100.0%	1,374	100.0%	△ 12	△0.9%

土地事業

契約台数の減少により駐車場収入は減収となりましたが、名義変更料、契約期間更新料等の一時的な土地付帯収入が前年同期より増加しましたので、土地事業の売上高は前年同期に比し3.6%の増収となりました。

建物事業

ビル事業におきまして、賃料の下落傾向が依然として続くなか、積極的にテナント誘致に努めましたので、第一大阪港ビルなどビル稼働率が上昇し、増収となりましたが、南港ポートタウン管理センターなどの商業施設におきまして、大口テナントの退室が大きく影響したことにより、建物事業の売上高は前年同期に比し0.6%の減収となりました。

物流事業

冷蔵倉庫業務におきまして、主力保管貨物である大手取引先の冷凍食品が生産調整などの影響を受け取扱量が減少したこと、それに伴い運送手配代行業務が減少したことにより減収となりました。また上屋業務におきましては、業界における過当競争や顧客の物流コスト削減の要請が強まるなか、鋭意集荷に努めました。事務代行手数料が減少したこと及び安治川上屋を撤退したことにより、物流事業の売上高は前年同期に比し11.6%の減収となりました。

平成18年3月期 業績予想



大阪港振興株式会社

(JASDAQ・8810)

(単位：百万円)

	18年3月期予想	17年3月期実績	増減
売上高	2,730	2,724	6
経常利益	480	476	4
当期純利益	280	272	8
EPS（円）	141.02	136.24	4.78
ROE（%）	7.3	7.6	△ 0.3

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

経営方針

当社は、戦後まもない昭和22年8月、大阪港の機能復興に向け、大阪市が50%出資した官民共同企業体として設立され、以来、半世紀余を経過いたしました。その中で当社は一貫して大阪港の発展と整備のサポート企業として歩んでまいりました。今、大阪港はウォーターフロント開発により大きく変貌し、「テクノポート大阪」計画などの大型プロジェクトが現在も進行中で、日本の新都市を目指し、国際都市としての新しい拠点づくりが展開されております。

当社は、このようなウォーターフロントを中心に展開される大阪市の港湾計画に対し、引き続きこれに則した事業を展開し、臨海地域の振興・発展を目的として、土地・施設等の開発・運営を担っていきたいと考えております。

今後の取り組み

今後の取り組みにつきましては、当社では引き続き建物諸設備の計画的な改修・改良を進め、積極的にテナント確保に努めるとともに、本年10月よりオープンいたしました南港ポートタウン西ビル、本年12月に竣工予定の老人福祉施設（グループホーム）など新しい賃貸施設の開業により、地域の振興と業績の向上を図ってまいりたいと考えております。

また更なる社業の発展、業績の安定を図るため、引き続き経営の効率化、合理化を推し進め、企業体質の強化や財務内容の一層の充実に努めてまいります。

売上高・経常利益の推移（非連結）

大阪港振興株式会社

(百万円)

3,000

2,500

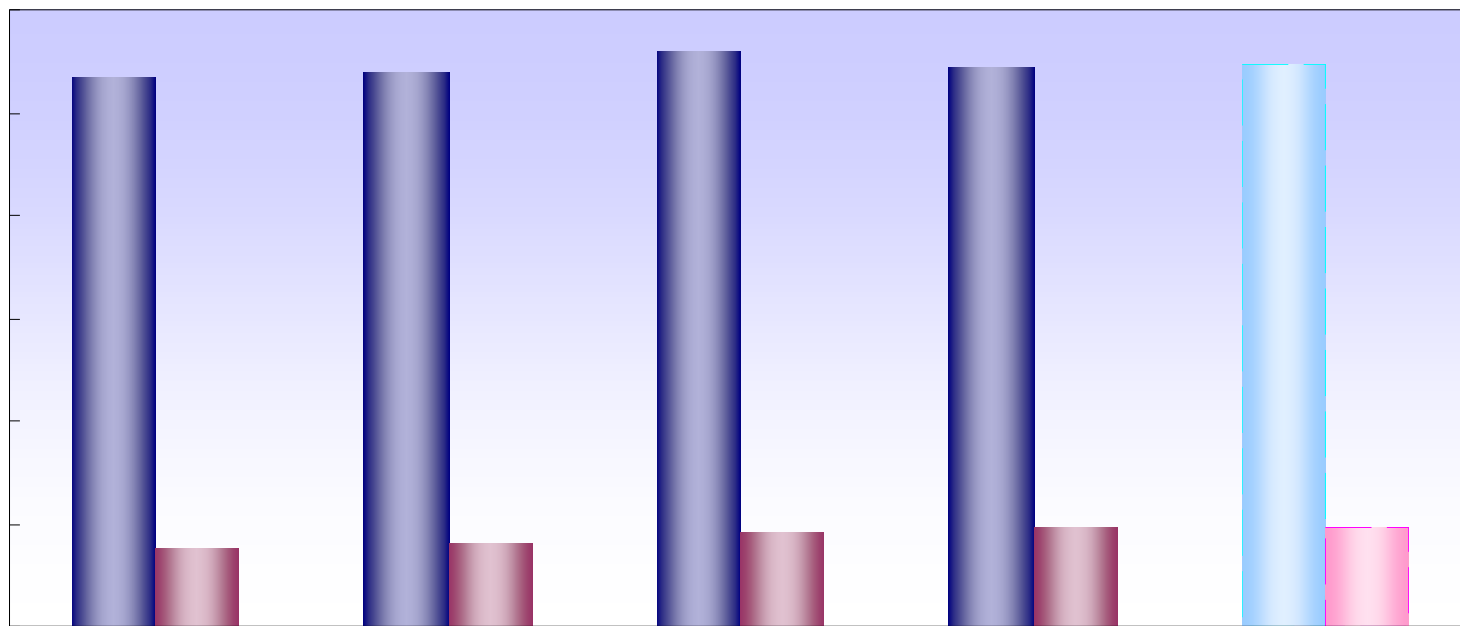
2,000

1,500

1,000

500

0



14年3月期

15年3月期

16年3月期

17年3月期実績

18年3月期予想

■ 売上高

2,668

2,701

2,793

2,724

2,730

■ 経常利益

374

411

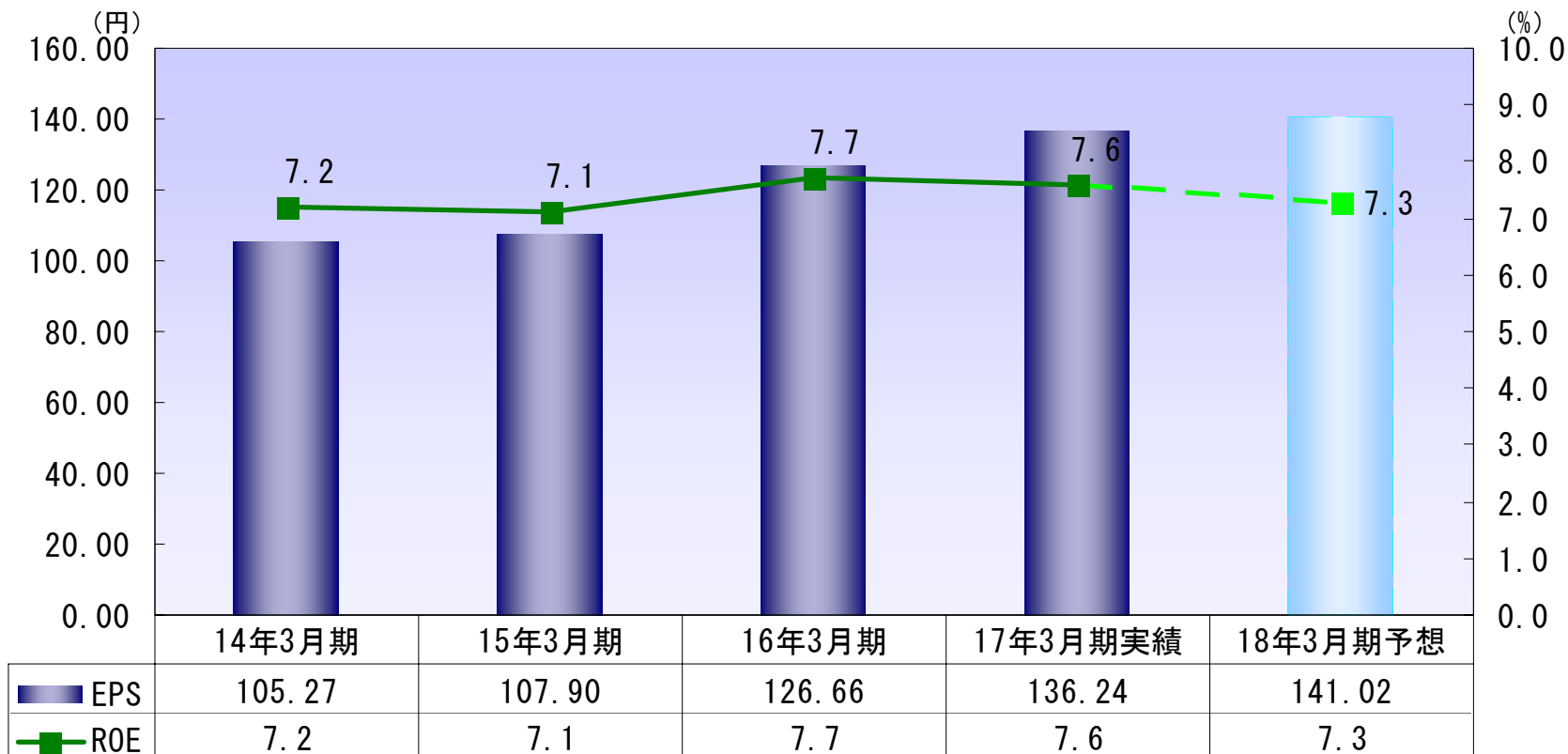
450

476

480

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

EPS・ROEの推移（非連結）



EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



大阪港振興株式会社

総務部経理課

TEL : 06-6571-0864